

平成30年度事業報告

概要

今年度は、会員の減少も止まり、事業実績も僅かながら増加の傾向にあります。また、新総合事業については、職員を先進地に派遣し可能性を求めた年でもありました。

適正就業に関しましては「シルバー人材センターの適正就業ガイドライン」に沿った事業を心がけ、請負事業になじまない仕事は、積極的に派遣事業に切り替えております。

安全就業に関しましては、賠償事故が10件起きています。ほとんどが草刈作業中の事故です。毎年同じような事故が繰り返されています。今一度刈り払い機の危険性を認識しなくてはなりません。

シルバー人材センターの果たす役割が、本来の高齢者の生きがい事業から、本格的な労働力の提供、新総合事業への参入等へと重要になってきております。1年間、地域におけるシルバー人材センターの役割は何かを考えながら事業を展開してまいりました。今後も、地域に信頼されるセンターを目指して積極的に事業を進めてまいります。

I 会員の現況

登録状況・就業状況（年齢別・男女別）

平成31年3月31日現在（単位：人、歳）

		60歳未満	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	計	平均年齢	最高年齢
平成31年 3月31日 現在の登録 会員数	男	0	14	46	67	37	28	192	72.9	90
	女	0	0	17	26	18	32	93	76.1	87
	計	0	14	63	93	55	60	285	74.0	90
平成30年 度中の就業 実会員数	男	0	9	35	48	32	22	146	74.5	86
	女	0	0	15	21	18	28	82	75.3	86
	計	0	9	50	69	50	50	228	74.8	86